

1 施設整備マニュアル改訂の目的

施設整備マニュアルの発行から一定期間が経過する中、設計者等より、整備基準についてより分かりやすい解説を望む声が寄せられているほか、整備基準の数値のみでは表せない多様な利用者の特性やニーズに配慮した整備を進める必要があること、さらには、近年、需要が高まっている望ましい設備・整備について周知啓発していく必要が生じている。

2 施設整備マニュアル改訂の方向性

- (1) 整備基準の解説の整理
解説文や設計ポイントの具体化・可視化（曖昧な表現を数値化、イラストの更新、画像の挿入など）
- (2) バリアフリーチェックの意見反映
市がこれまでに蓄積したバリアフリーチェック等における当事者意見の反映（望ましい整備やコメントとして反映など）
- (3) 望ましい整備の更新
近年、需要が高まっている望ましい設備や整備の反映

Governance 基準の明確化

Consensus 当事者意見の反映

Society 社会の要請

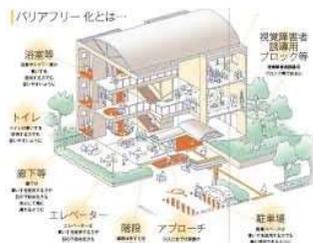
3 改訂版施設整備マニュアルの全体構成

現行版 施設整備マニュアル全体構成（抜粋）

- I 札幌市福祉のまちづくり条例のあらまし
条例の趣旨、概要
↓
建築物の利用実態による分類

- II 整備基準と解説
建築物
敷地内の通路
↓

- III 関連資料
障がい者のための国際シンボルマーク
↓



改訂版 施設整備マニュアル全体構成（案）

- I 札幌市福祉のまちづくり条例のあらまし
ユニバーサルデザインの基本的な考え方 (New)
心のバリアフリーの重要性 (New)
障害者差別解消法の趣旨 (New)
建築物の利用実態による分類 (分類内容の簡略化)



- II 整備基準と解説
建築物
造作・機器 (New)
カウンター、記載台、案内表示、発券機、自動販売機
乳幼児用設備、水飲み器、視覚障害者誘導用ブロック など



- III 関連資料
カラーユニバーサルデザインの考え方 (New)

